

# ドクター + 教える

## 「放射線診断科では どんなことをしているの？」

磐田市立総合病院 第3医療部副部長（放射線担当）  
兼放射線診断科部長 内藤 眞明



病院の中にある放射線診断科ではどのようなことを行っているのでしょうか。私たち放射線診断医が外来で患者さんを直接診察し治療することは無いため、実際にどのようなことをしているのか、ご存知の方とはとても少ないのではないかと思います。そこで、この機会を借りて簡単に説明します。

高精密の液晶モニターを見て異常を指摘し、それを報告書にして、依頼した医師に見てもらいます。これによって、正確な診断と迅速な治療が可能となります。

次に血管I V Rですが、血管I V Rとは「血管内治療」のことで、細いカテーテル（特殊なチューブ）を血管に入れ、その先端を病変の近くまで進めて、そこから治療を行います。腫瘍に栄養を運ぶ血管に抗がん剤を混ぜた塞栓物質を入れれば、腫瘍を縮小させることができます。

最後に、最近、放射線による被ばくが問題になっていますが、画像検査は病気の早期発見・早期治療のためにはなくてはならないものです。当院では放射線被ばくを最小限に抑えるべく努力していますので、安心して画像検査をお受けください。

## 出前講座を ご利用ください

磐田市立総合病院

地域医療支援センター地域医療連携室



磐田市立総合病院では、地域の皆さんとの交流や健康づくりのお手伝いの一環として、当院職員による「出前講座」を開催しています。

### 地域と病院が繋がる

「出前講座」は当院職員（医師・看護師・薬剤師・理学療法士など）が地域に出向き、市民の皆さんが知りたいこと、聞きたいことだけでなく、市民の皆さんの健康づくりに役立つことをテーマに講座を開催しています。

平成24年度に市民向けにスタートした出前講座は、健康づくりに対する疑問について、丁寧で分かりやすい説明が好評で、今では企業や学校などにも開催の場が広がり、平成29年度には58カ所、約8000人の方に聴講いただいています。

### 新たな3つの講座

本年度は交流センター向けに3つの講座を用意しています。

一つ目は、昨年、誤嚥性肺炎減らそう隊（磐田市立総合病院・すずかけハウスケアホスピタル）が開講した「誤

嚥性肺炎予防 嚙下とマウスケア編」です。

二つ目は、今年度新たに開講する、寝たきりにならないために大切なこと「誤嚥性肺炎予防 栄養と運動編」です。お口の老化は40代から始まっています。誤嚥性肺炎だけでなく、全ての病気に関連します。

三つ目は、災害拠点病院である当院のDMAT（災害時派遣医療チーム）による「大災害が起こったら病院は地域はどうなるの？」です。DMATとは、大規模災害や多傷病者が発生した際に、おおむね48時間以内の急性期に活動できる、専門的な訓練を受けた医療チームです。医師・看護師・薬剤師などで構成されています。

### お問い合わせ

講師料は無料です。ぜひご利用ください。申し込み方法については、当院ホームページをご覧ください。

磐田市立総合病院 出前講座

検索

# くらしの 情報